

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
令和5年度第3回美里町在宅医療介護連携推進会議
- 2 開催日時 令和6年2月20日（火） 午後6時30分から午後7時30分まで
- 3 開催場所 美里町健康福祉センター 1階 大広間
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員
野田清一委員、高橋均委員、吉村英晃委員、佐々木義夫委員、永澤もとえ委員、
伊藤恵委員、三浦禎委員、尾形文克委員、高橋ゆかり委員
 - (2) 事務局
相原浩子、千葉雅子、高橋ひろみ、小林公美
 - (3) その他
美里町町民生活課 佐藤千賀子
美里町健康福祉課健康推進係 及川沙希
涌谷町福祉課包括支援班 中野目裕美
- 5 議題
 - 報告
 - (1) 令和5年度在宅医療介護連携推進事業 町民公開講座について
 - (2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について
 - 議事
 - (1) 第9期介護保険事業計画における美里町在宅医療介護連携推進事業の
取組（案）について
- 6 会議の公開・非公開の別
公開
- 7 傍聴人の人数
0人
- 8 会議資料
別紙のとおり

9 会議の概要

○事務局（千葉） 定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第3回美里町在宅医療介護連携推進会議を開会いたします。長寿支援課長の相原よりご挨拶申し上げます。

～挨拶～

○事務局（千葉） 次第の2から、座長の野田委員に進行をお願いいたします。

○野田清一座長 それでは次第の2、議事録署名人の選出です。事務局案はありますか。

○事務局（千葉） 事務局から提案させていただきます。会議録署名人につきましては、本日まで出席いただいております永澤もとえ委員と高橋ゆかり委員のお二人にお願いできればと思いますので、提案をさせていただきます。

○野田清一座長 ただいまの事務局の提案について、よろしいでしょうか。

（はいとの声あり）

○事務局（千葉） 美里町では附属機関等の設置および運営に関する指針に基づき、会議録を作成し公開することを定めております。会議終了後、事務局において要約筆記として調整した会議録を作成し、会議録署名人のお2人に内容のご確認、ご署名をいただいた上で会議録を公開したいと思っております。なお、会議書記につきましては事務局で行います。よろしくをお願いいたします。

○野田清一座長 続きまして次第の3報告に入ります。

（1）令和5年度美里町在宅医療介護連携推進事業、町民公開講座について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（小林） （1）令和5年度美里町在宅医療介護連携推進事業、町民公開講座について、ご報告いたします。資料1をご覧ください。

～資料1を説明～

○野田清一座長 リハビリというテーマはフレイル予防でもとても大切ですので、素晴らしい講演だったのではないかと思います。講師をされた尾形委員、参加者の皆さんから質問もあったと思いますが、少しご説明いただけますか。

○尾形文克委員 思っていた以上に、介護予防に興味のある住民の方が多くて驚きました。質問も多く、終わった後にも個別で質問に来てくださる方もおり、ますます今後介護予防についての需要が高まっていくのだろうと感じました。住民の方でも、このままではいけないと思っている方が昔に比べて多くなっている印象を持ちました。

○野田清一座長 ありがとうございます。それでは報告（2）に入ります。

（2）高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、事務局から説明をお願いします。

○事務局（及川） （2）高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、ご報告いたします。資料2をご覧ください。

～資料2を説明～

○野田清一座長 令和5年度の事業報告で、ハイリスクアプローチの抽出者64人という

ことですが、これは医療機関に受診していない方をレセプトから調べたという事でしょうか。

○事務局（及川） 令和3年度の健康診査の受診歴がない方で、レセプトがない方を抽出し、そのうえで令和4年度の健康診査受診歴もない方をさらに抽出しました。そこから介護保険の認定を受けている方と90歳以上の方は除いております。

○野田清一座長 その中で訪問対象者25人ということでしたが、この方たちの状態はどうでしたか。健康な方なのでしょうか。

○事務局（及川） 継続支援にならなかった方は、元気で、困っていない方でした。健康診査については自分で行かないと意思表示されており、病院への受診についても、風邪もひかず受診する必要がなかったという方でした。

○野田清一座長 健康診査の申込書で「受けない」と意思表示できるはずですが、それをしなかったという事ですね。

○事務局（及川） そのとおりです。

○野田清一座長 健康診査はとても大事ですので、受診につながるような活動をよろしくお願いします。

それでは、次第の4議事に入ります。（1）について事務局からお願いします。

○事務局（千葉） それでは、（1）第9期介護保険事業計画における美里町在宅医療介護連携推進事業の取組（案）について、資料3から資料6を使いご説明させていただきます。

○事務局（小林） はじめに資料3をご覧ください、第8期介護保険事業計画における取組み状況についてご説明させていただきます。

～資料3を説明～

○事務局（千葉） 続けて、資料4から資料6を使いご説明させていただきます。

～資料4、資料5、資料6を説明～

○野田清一座長 ただいまの説明の通り、今年度で美里町の在宅医療介護連携推進会議は終了します。その代わりとして、すでに各種会議や事業が実施されていますので、そちらの方で現委員の皆さんも活躍頂ければと思っております。今回が最後になりますので、委員の皆様一人一人から、一言ずつ意見や感想をいただければと思います。

○佐々木義夫委員 在宅医療介護連携推進会議は、準備段階から参加をしていました。連携体制は、だんだん良くなっているのは間違いないと感じていますが、支え合い、横のつながりを考えると、介護事業所の責任者が集まり会合を持たないとなかなか具体的に進めることが難しいと思っております。事業をするには経費が発生するので、ボランティアだけでは難しいです。町の費用もしくは、事業所から少しずつ皆で出し合うかなど、決定権のある人が判断して活動を起こしていけば、もう少し介護事業所の横のつながりが良くなるのではないかと考えています。法律で地域包括ケアシステムが定められる以前に、美里スマイルケアネットワークというNPO法人を立ち上げましたが、事業所同士の横のつながりを具体的に発展させていくのが難しく、課題と感じています。介護保険報酬改定の時期ですが、なおさら事業所同士が助け合いをしていかないと、倒産してしまう可能性もあると

思うので、横の繋がりをもっと持つことが、経営者及び職員にとって、大事なのではないかと感じます。

○吉村英晃委員 第9期美里町介護保険事業計画の目標の2の、みんなで支え合いができる地域づくりという点で、私も男性のひとり暮らしの方のところへ訪問していますが、男性のひとり暮らしの方は地域と繋がっていない方が多いと感じています。だんだん飲酒量も多くなり、歩くのも大変になり、トイレに行くのも大変になるという展開もあります。女性は、誘われればいきいき百歳体操等に行く方も多いですが、男性は参加する方が少ないので、男性高齢者の支え合い、ちょっと誰かが声掛けできるような仕組みが必要だと思います。地域包括支援センター職員や民生委員だけでは限界があるので、重点施策の中の訪問型サービスAの開始に期待をしたいと思います。佐々木委員も言ったとおり、事業所同士の横の繋がりは大切だと思います。事業所も人手不足で悩んでいるところがあるので、横や縦の連携を強化していければ良いと思っています。

○三浦禎委員 吉村委員からも話がありましたが、独居高齢者、二人暮らし高齢者が増えていくのは明らかで、全国的な問題でもあります。介護現場の話を見ると介護職員の不足が非常に深刻な状況ですし、美里町の事業は、窓口を地域包括支援センターに集中させている印象があるのですが、地域包括支援センター職員への負担がとても大変になるのではないかと感じています。いかに住民の力を借りてやっていくかということが大事なポイントになるのではないかと感じています。国でも総合事業の中で、元気な高齢者の人たちがむしろ支え手になって活躍して欲しいという地域包括ケアのイメージを示しています。どうやって住民を巻き込んでいけばいいのかということが、難しい点だと思います。事業所同士の横の繋がりも大事ですし、それにあわせて住民との繋がり、住民同士の繋がり、この辺が本当にこれからの一番の要になってくるのだと思います。在宅医療介護の四つの場面について、看取りのところではACPの問題にこれから着手していきたいという話もありましたけれども、それぞれの場面で沢山課題があると思います。地域包括支援センターでこれを全てやっていくというのは非常に大変なことだと思います。優先順位を定めてもいいと思うので、今これが課題だというものを見つけてそこから着手していく、その一環でまずはACPの問題ということが挙げられていますので、県としても、来年度研修等で支援していければと思っています。

○尾形文克委員 在宅医療介護連携推進会議に参加させていただき、美里町の現状や方向性というのを、自分自身が勉強できた部分も多かったと思います。ここにいらっしゃる委員の方々とは他の会議でも顔を合わせる機会が多いので、また今後ともよろしくお話ししたいと思います。

○高橋ゆかり委員 この会議があったことで、皆さんと顔の見える関係性が築けた事が一番大きなところだと思います。生活支援コーディネーターとして、生活支援体制整備事業を担当して活動しておりますが、吉村委員、三浦委員からお話があった、支え合いのしくみづくりの部分で、生活支援コーディネーターの役割が期待されている事を改めて感じています。美里町では生活支援コーディネーターは一人しかおりませんが、一人では

きない部分も沢山あるので、今後委員の皆さんにも、一緒にできることなどを御相談させていただきたいと思っております。ぜひこれからも色々な情報共有をしながら、先ほど吉村委員からお話があった、男性のひとり暮らしの方で他者との繋がりが無い方にも、繋がり易い紡ぎ直しができるような支援を、一緒に検討できたらと思っております。

○伊藤恵委員 この会議に参加し、美里町の方向性などを聞くことによって、実際現場に戻った時にスタッフと共に何ができるかという考えで進めてこられたので、会議に参加させていただき大変感謝しています。住民の生活を支えるために、看護だけではどうにもならないことがあるので、他の事業所の事情や役割をきちんと知り、繋がることによって、住民の方の望む暮らしが実現できるという事を肌で感じています。管理者としても事業所としても、今後も他機関の方々と一緒に協働していければと思っております。これからも正しい情報をきちんと分析して取り組んでいきたいと思っております。

○永澤もとえ委員 訪問介護サービスで毎日訪問させていただく高齢者の中には、一人暮らしでサービスの手が届いていない等過酷な状況の方も多くおります。今後高齢者人口が増えるに伴い、経済的に困難で施設にも入れない、ヘルパーも入れられないという方が益々増えてくると思います。ヘルパーが少しでも入っていく中で、私たちヘルパーに課せられている役割というのを、会議に参加させていただいて、ひしひしと感じました。会議の場で感じたことを、職場に戻って上司に伝えていますが、事業所としては利益が上がるように考えなければいけないという事があります。生産性を向上することで、ヘルパーが割ける時間、手だてを少しでも多くしていく事を来年度は考えております。有資格者のヘルパーは重度の方や看取りの方、認知症の方等に対するサービスに集中したいということもありますので、農協女性部の方の力を借り、訪問型サービス等々の一助となっただけのような人材を生み出せないかという事を、考え始めています。今後自分も美里町でゆっくり年を取りたいなど思っているのです、今後も頑張っていきたいと思っております。

○高橋均委員 普段から患者さん一人一人と接する機会がありますが、この会議に参加し、もう少し広い範囲で美里町の在宅医療介護という問題について知る事ができ、参考になりました。美里町と薬剤師会とは、今まで殆ど縁がなく、他町村と比べても薬剤師会との繋がりが少ない町でした。この会議をきっかけに繋がりが出来、特に地域包括支援センター職員と顔見知りになったことで、いろいろと事業に参加することも出来ました。薬剤師会としては仕事が増えるのが大変な部分もありますが、社会に対して貢献できるという点では非常にありがたく、今後もこの関係を続けていきたいと思っております。来月あたりから大崎でフレイル対策事業としてフレイル認定薬局を作るという話があります。何回か研修会に参加し、認定を受けるといふものです。遠田郡、加美郡の薬局も入っており、またいろいろと、協力していただくことになるのではないかと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

○野田清一座長 2000年に国が超高齢社会を見据えて、介護保険制度をスタートしました。2015年に、各市町村で地域包括ケアシステムを構築しようという事で、美里町では在宅医療介護連携推進会議が発足しました。発足した当時のことを思い出しますと、

当時この場に横山医院の横山医師がおられて、顔の見える関係づくりを構築していこうと
いうことで、飲食をしながら交流をしました。医療関係においては、医師、歯科医師、薬
剤師で、三師会というのが毎年集まりを持っていましたが、医療関係者以外の、看護や介
護、福祉関係の皆さん方とお会いする機会は、それまではありませんでした。この会議に
参加することで、私自身の視野が非常に広げられたと思っております。私は南郷地区で歯
科医院をしておりますが、歯科も在宅医療のお手伝いができると思っておりますので、どう
ぞその際には気軽に声をかけて下さい。介護とは食との関係で接点もあります。フレイル
予防には食が大事ですし、口腔ケアや全身の健康維持管理がとても大事なことです、
何か役に立てれば、参加させて頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。それ
では、これで議事を終了します。事務局お願いします。

○事務局（千葉） 次第の5その他です。

委員の皆様、今まで沢山の御意見を頂戴しましてありがとうございます。美里町在宅医
療介護連携推進会議は今年度で終了となりますが、これからも、色々な事業や会議で御協
力をお願いすることが沢山あると思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたしま
す。

以上をもちまして、令和5年度第3回美里町在宅医療介護連携推進会議を閉会いたします。
委員の皆様、本日はありがとうございます。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 年 月 日

委 員 _____

委 員 _____